１．件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談
２．日時：令和３年５月１０日（月）１５時４０分～１６時４５分
３．場所：原子力規制庁　６階会議室
４．出席者
原子力規制庁
原子力規制部　東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
岩永企画調査官、佐藤管理官補佐、（以下、テレビ会議システムによる参加）
平山技術参与
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー　プール燃料取り出しプログラム部
担当者　１名（テレビ会議システムによる出席）
福島第一廃炉推進カンパニー　燃料デブリ取り出しプログラム部
担当者　１名（テレビ会議システムによる出席）
福島第一廃炉推進カンパニー　２号燃料取扱設備ＰＪグループ
担当者　４名（テレビ会議システムによる出席）
福島第一廃炉推進カンパニー　放射線防護グループ
担当者　２名（テレビ会議システムによる出席）
福島第一廃炉推進カンパニー　プロジェクトマネジメント室
担当者　２名（テレビ会議システムによる出席）

５．要旨
〇本年４月１４日に東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）及び原子力規制庁が共同実施した福島第一原子力発電所２号機原子炉建屋５階オペフロ内の調査に係る結果のとりまとめ方針について、東京電力から説明があった。
〇これに対して、原子力規制庁は、調査結果に係る資料では誤解を与えない表現を用いること、測定値を踏まえた評価値の記載方法を工夫することなどを指摘した。

６．資料
なし

以上